



Weekly Report



クラブ・テーマ Participate Actively, Engage Rotary, Change Lives
「積極的に参加し、ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」

会長 原田晃博
幹事 津多一幸

例会場：割烹「ふな又」 例会日：第2・3・4木曜日
事務所：さいたま市岩槻区本町3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

原田晃博年度 第9回 通算2669例会

平成30年9月20日

会長挨拶

第56代会長 原田晃博

皆様こんにちは！本日は中川高志ガバナーをお迎えしての公式訪問例会です。中川ガバナーようこそ岩槻ロータリークラブへ。また、第4Gガバナー補佐の菊池和彦様、第2770地区副幹事の田中康之様、岩槻ロータリークラブ会員一同歓迎致します。本日は長時間になりますが宜しくお願ひ致します。



さて、今年4月の地区研修・協議会において、中川ガバナーの登壇を忘れる事が出来ません。古タイヤにロープを巻き、それを肩に背負いながらの登壇でした。最近まれにみる演出かと感じました。我々世代には懐かしい「巨人の星」のオープニングテーマ曲に乗っての登壇でした。スピーチの出だしは息切れしておりました。私自身は非常に愛嬌のあるガバナー（すみません）で、親近感を持ちました。地区活動方針も明確で理解しやすいです。本日は「BE THE INSPIRATION」（インスピレーションになる）を含めご教示して戴ける事を楽しみにしております。

また本日を迎えるに当たり、関根会場・出席委員長をはじめ委員会のメンバーの皆様、岩槻ロータリークラブ会員の皆様の努力には感謝申し上げます。ありがとうございます

幹事報告

幹事 津多一幸

- 1 国際ロータリー第2770地区より、
職業奉仕部門セミナーのご案内です。
日時 10月4日(木) 17:00～
場所 パレスホテル大宮
講師 神田 正 氏(日高屋代表取締役社長)
- 2 米山記念奨学会「ハイライトよねやま」222号。
- 3 大宮西RCより10月の例会予定表が届いております。



委員会報告

親睦委員会 委員長 鈴木 隆

10月21日～22日は会員親睦旅行です。焼津で新鮮な魚と美味しいお酒を飲みながら親睦を深めましょう。ご参加宜しくお願ひ致します。



本日のお客様



第2770地区
ガバナー
中川高志様



第グループ
ガバナー補佐
菊池和彦様



第2770地区
副幹事
田中康之様

ガバナー卓話

国際ロータリー第2770地区
ガバナー 中川 高志



皆さんこんにちは。
クラブ訪問にお伺いしましたガバナーの中川でございます。公式訪問の主目的は、会員の意欲を高め、支援を提供することです。今日は皆さんと一緒に、入会者にとって魅力があり、現会員が満足できるような活気あるクラブをつくるために、どのように柔軟なクラブ運営や新しい試みを取り入れていくのか考えていきましょう。

私は2018年1月にサンディエゴで国際協議会に参加してきました。目的は、ガバナーに向けての準備、ロータリーの優先事項について理解を深める、世界中のガバナーとネットワークを築く機会をつくることなどです。世界中から500人以上のガバナーエレクトとパートナーがサンディエゴに集まり6日間にわたって研修を受けます。9回の本会議と11回の分科会そして会長エレクト主催晩餐会をはじめたくさんの楽しい交流プログラムが用意されています。本会議は同時通訳がつかます。分科会は日本の34人の同期エレクトと3人の研修リーダーの下2組に分かれてRLI方式で討論していきます。パートナーには別のプログラムが用意されています。第1回の本会議でバリー・ラシン会長エレクトのテーマ発表がありました。BE THE INSPIRATIONについてラシン会長はまさにインスピレーションになって熱く語ってくれました。

新しいビジョン声明、ロータリーの優先事項は別表をご覧ください。

「変化を生み出そうという意欲をクラブ会長と地区内ロータリアンの心に芽生えさせていただきたいのです。もっと何かをしよう、可能性を最大限に発揮しようというやる気を引き出し、それぞれのやり方で前進できるよう手助けすることが皆さんの仕事です」というラシン会長の熱い支持の下、2018-19年度第2770地区の地区活動・運営方針は

BE THE INSPIRATION
全てはクラブ活性化のために
一実りある豊かな奉仕を目指して

としました。

ロータリーを理解するために、マイロータリーに全員登録する、ロータリー賞にチャレンジする、ロータリーリーダーを開催する。奉仕活動強化のためローターアクトを倍増する。数値目標は別表のとおりです。

クラブ各位には、増強、奉仕プロジェクトの推進、青少年交換留学生の派遣、受け入れ、米山記念奨学生の受け入れ、インターアクト、ローターアクトの提唱、友好、姉妹クラブの締結など数多くのプロジェクトやプログラムを推進いただき大変感謝しています。これらの活動を通してさらにクラブが活性化されることを願っています。とても楽しくクラブを訪問させていただきました。ありがとうございます。



ロータリーの新しいビジョン声明

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、**持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界**を目指しています。

Vision Statement

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change-across the globe, in our communities, and in ourselves.

2018～19年度の国際ロータリー・地区の目標

優先項目1「クラブのサポートと強化」に関する目標

1. 現会員を維持する。
2. クラブの会員数を増やす。
3. 新クラブを結成する。
4. 女性会員、40歳未満の会員、ロータリーに入室するローターアクターの数を増やす。

2018～19年度の国際ロータリー・地区の目標

優先項目2「人道的奉仕の重点化と増加」に関する目標

5. ポリオ撲滅活動への現金寄付と地区からのDDF寄附を増やす。
6. DDFを利用した地元や海外での地区補助金ならびにグローバル補助金を増やす。
7. インターアクトとローターアクトが地元のロータリークラブや地域社会と一緒に、奉仕プロジェクト(環境関連のプロジェクトを含む)に参加するよう促す。
8. 年次基金への寄付を増やし、2025年までに20億2500万ドルの恒久基金を達成する。

2018～19年度の国際ロータリー・地区の目標

優先項目3「公共イメージと認知度の向上」に関する目標

9. ポリオ撲滅におけるロータリーとロータリアンの役割の周知を図る。
10. ロータリーへの認識を高め、「世界を変える行動人」キャンペーンを推進する。
11. ロータリーショーケースとアイデア応援サイトを利用したり、クラブ史を記録することで、ロータリークラブのプロジェクトに対する認識を高める。



2018-19年度地区数値目標

会員数 2,770名以上

出席率 90%(メイキャップを活用)

財団寄付額 年次寄付 200ドル/1名
ポリオ・プラス 50ドル/1名
初ベネファクター 1名/1クラブ
(50名以上のクラブは2名)

米山寄付額 25,000円/1名
(普通寄付5,000円 特別寄付20,000円)

スマイルBOXより

メンバー(50音順)
 小田光司 菊地 廣 木村郁夫 小林 篤 小林利郎
 塩田淳司 鈴木 隆 鈴木真樹 関根信行 田中芳明
 田畑寛樹 津多一幸 出山知宏 中村 正 原田晃博

❀たくさんのご芳志ありがとうございました❀

スマイル報告	
本日のスマイル合計	22,000円
年間累計額	228,000円

出席報告				
会員数	出席数	免除者	MU	出席率
25	18		4	88.00%